

議会運営委員会

令和6年6月3日午前9時から第一会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎木澤 正男
小城 世督
奥村 容子
中川 議長

○齋藤 文夫
嶋田 善行

溝部真紀子
横田 敏文

2. 理事者出席者

総務部長 西巻 昭男

3. 会議の書記

議会事務局長 福田 善行 同 係 長 吉川 也子

4. 審査事項

別紙のとおり

開会（午前9時）

署名委員 小城委員、嶋田委員

委員長

おはようございます。

全委員出席されておりますので、ただいまから、議会運営委員会を開会し、本日の会議を開きます。

最初に、本日の委員会の会議録署名委員を私の方から指名いたします。

会議録署名委員に、小城委員、嶋田委員を指名いたします。

両委員にはよろしく願いいたします。

急遽、議会運営委員会を開催させていただくことになりました。と申しますのは、先日、24日（金）議会運営委員会終了後に1件の要望書をお受けいたしました。この取扱いについてご協議いただきたいと思います。まず、この文書を受けた経緯などについて、簡単に事務局から説明願います。

福田議会事務局長。

議会事務
局長

おはようございます。

それでは、5月24日の議会運営委員会の後届きました「ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情」について、その経緯等を報告させていただきます。

この文書は、神戸市在住の山本めぐみ氏から郵送されてきたもので、5月24日に受け付けしました。

陳情の趣旨は、パレスチナのガザ地区において、ハマスによるイスラエルへの大規模攻撃及び人質事件に対し、イスラエルによる報復措置により、33,000人以上が犠牲となり、このような状況はジェノサイドであり、今すぐ一般市民の犠牲を止めるべく、停戦の呼びかけ、負傷者や難民の救済は必然であることから、ガザ地区に平和を求める世界各国の都市や議会、日本の地方議会とともに当議会に対し、「ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出」を求める陳情であります。

以上、提出を受けました陳情書についての概要でございます。

委員長

ただいま議会事務局長から説明がありましたが、本日、この取扱いについ

て委員皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。要望書については、事前配布させていただいておりますので、このまま進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長 それでは、この陳情書の取扱いについて、委員皆様のご意見をお聞きかせいただきたいと思います。 小城委員。

小城委員 議員配布でいいと思います。

委員長 ほかにございませんか。 横田委員。

横田委員 私も議員配布でいいかなと。日本政府もガザの停戦を求める決議案に賛成して採択されているという状況ですので、配布したらどうかと。

委員長 今、二人の方から議員配布にとどめてはというご意見がありましたが、他の委員さんもそれでよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長 ただいま議題となっております要望書につきましては、各議員に配布にとどめるということで確認しておきます。

以上で、(1) 要望書の取扱いについて終わります。

次に、2. その他について、各委員からご意見等があれば、お受けします。

(な し)

委員長 議長から、何かございませんか。

(な し)

委員長 事務局から、何かございませんか。

(な し)

委員長 これをもって、その他については終わります。

以上をもちまして、本日予定しておりました案件は全て終了しました。

なお、本日の委員長報告のまとめにつきましては、正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。

これをもって本日の議会運営委員会を閉会させていただきます。

どうも、お疲れさまでした。

(午前9時04分 閉会)